

グラフ かごしま

Kagoshima Information Magazine
Graph KAGOSHIMA

9

Vol.508 | 2015 SEP.

グラフかごしまの購読料は
年間1,400円(送料込み)
[隔月1日発行]

特集

「本物。鹿児島県〜文化維新は黒潮に乗って〜」

第30回国民文化祭

かごしま2015まもなく開幕!!

おいしく気軽にヘルシーに

「かごしま減塩レシピ」

とうがんとサラダ豆の寄せ物

「島々もよう」 諏訪之瀬島 (十島村)

「本物。鹿児島県・特産品探訪」

大島紬ポンチヨ

「奄美の杜」

「薩摩藩英国留学生同行記」

ロンドンでの生活はじまる

「かごしま祭時記」

妙音十二楽 (日置市)

Present
特産品プレゼント!
詳しくは21ページをご覧ください。





心に響く風景

国直海岸

奄美群島
大和村

「東洋のガラパゴス」と呼ばれる奄美大島。

国の天然記念物である県鳥ルリカケスが生息しています。

奄美市名瀬から車で30分ほど行くと、大和村の国直海岸が見えてきます。

ここは奄美群島でも有名なウミガメの産卵スポットで、5月から7月の産卵期は、集落全体で産卵を見守ります。

ウミガメは、夜間に孵化をしますが、外灯を月明かりと間違えて集落に迷い込むこともあるので、ウミガメが敏感に反応しないよう、付近の外灯は赤い色が特徴です。

夕日の絶景スポットでもある国直海岸は、近くに海岸を一望できるサンセットパークもあり、夕暮れ時は赤からオレンジに染まるグラデーションが海面を照らします。

東シナ海へゆつくりと沈む金色の太陽は、雄大な奄美の自然を包み込んでいくようです。





きそ あいら
吉左右踊り・太鼓踊り(始良市)

県の無形民俗文化財にも指定されている太鼓踊りは疫病や災厄をもたらす悪霊を鎮めるために行われる郡舞で、島津義弘公の朝鮮出兵の戦の様子が演じられています。今年の国民文化祭でも披露されます。

● グラフかごしまを購読しませんか。
定価180円、年間購読料1,400円(送料込み)
平成27年度 購読申し込み 受付中

● グラフかごしまに広告を載せませんか。

● グラフかごしまに関する
ご意見・ご感想をお寄せください。

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県広報課

TEL: 099-286-2095

FAX: 099-286-2119

E-mail: h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp



県ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

県携帯電話用ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/mobile/>

県公式ツイッター「鹿児島県政情報」

<http://twitter.com/kagoshimakensei>

県公式フェイスブック「鹿児島県」

<http://www.facebook.com/pref.kagoshima>

鹿児島インターネット放送局「ムーブ!かごしま」

<http://www.pref.kagoshima.jp/movekagoshima/>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために「点字図書」「拡大写本」「録音図書」などの読書代替物への媒体変更を行うことは自由です。

[ひと最前線]

4 第30回国民文化祭実行委員会 企画委員会
総合フェスティバル部会 部長 しんぶく けんいち
鹿児島県マーチングバンド連盟 理事長 **新福 憲一さん**



[特集] 「本物。鹿児島県～文化維新は黒潮に乗って～」

6 **第30回国民文化祭・かごしま2015 まもなく開幕!!**

[小特集] ～日本の近代化の先駆け 集成館事業～

12 **祝・「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録決定!**



[県政トピックス]

- 口永良部島の噴火に係る安倍内閣総理大臣視察
- 赤崎勇名城大学終身教授県民栄誉表彰授与式
- かがしま遊楽館来館者900万人達成記念セレモニー
- スペシャルオリンピックス夏季世界大会出場選手の知事表敬訪問
- 世界文化遺産登録決定
- 第36回霧島国際音楽祭
- 「英国留学生派遣150周年記念 薩摩スチューデント」派遣出発式
- 鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流



[ひとつべ! かがしま国文祭]

17 **天文館がこれまで見たことのないアート空間に!・「シマにいきづく文化と新たな風(文化)のフェスティバル」(大和村)**

18 [共生・協働の地域社会づくり] **枕崎七夕の会(枕崎市)**

19 [おいしく・気軽に・ヘルシーに かがしま減塩レシピ] **とうがんとサラダ豆の寄せ物**

20 [島々もよう] **諏訪之瀬島(十島村)**



[本物。鹿児島県特産品探訪]

21 ～2014かごしまの新特産品コンクール 鹿児島市長賞～
大島紬ポンチョ「奄美の杜」
プレゼントコーナー

22 [情報ボックス] **お知らせ・催し物案内**

24 [旅ルリカケス] かがしまよかとこ巡り
潮風と秋景を満喫する旅(出水市・阿久根市・長島町)

26 イベント情報(9月～11月)

28 [薩摩藩英国留学生同行記] 第3回
ロンドンでの生活はじまる

30 [かごしま祭時記] **妙音十二楽(日置市)**



県政広報番組 テレビ・ラジオ

テレビ

MBC ふるさと かごしま	毎週土曜日 11:15～11:30 リポーターが県内各地に出かけ、県政情報をお伝えします。毎週抽選で素敵な特産品が当たります。	KTS どやPPT かごしま	毎週土曜日 17:25～17:30 県政トピックスから旬の情報をピックアップし、分かりやすく紹介します。
KYT かごメン!	毎週日曜日 11:45～11:50 県の旬な話題、施策、県有施設、各地域振興局・支庁の取組を、鹿児島で活躍する熱いメンズがリポーター役となり、分かりやすく紹介します。	KKB かごしま ひと	毎週日曜日 11:45～11:50 かごしまで頑張っている「ひと」に焦点をあてつつ県の施策や県政の動きをわかりやすく紹介します。

◎ 最新の番組内容を、県ホームページトップページ→広報→県政テレビ・ラジオ番組からご覧いただけます。

ラジオ

MBC むっちゃん 「いきいき鹿児島!」	毎週木曜日 18:50～19:00 県の行事・イベント、制度等を「むっちゃん」のかごま(鹿児島)弁とともに、アナウンサーと県職員等による対談で、分かりやすく紹介します。	ミューFM かごしま info ラジオ	毎週月曜～金曜日 8:35～8:40 県の行事・イベント、制度等をさわやかなBGMにのせてアナウンス等で分かりやすく紹介します。
------------------------------------	---	-----------------------------------	---

文化が連れてくる
出会いと感動を
心から楽しむこと

今秋、開幕する『第30回国民文化祭』。新福憲一さんは、総合フェスティバル（開・閉会式）の総合監修をはじめ、マーチングバンド・バトントワーリングの祭典でも企画委員長として忙しい日々を送っている。マーチングバンドの指導者として、さまざまな式典の演出家として、多様な文化に触れてきた経験から生み出されるステージは楽しみのひとつ。国文祭での演出や、鹿児島県の音楽文化などについて話を伺った。

第30回国民文化祭県実行委員会 企画委員会
総合フェスティバル部会 部会長
鹿児島県マーチングバンド連盟 理事長

新福 憲一さん

Kenichi Shinpuku

マーチングバンドに携わる きつかけは何でしたか？

鹿児島県警の警察音楽隊に所属してマーチングバンド指導者の資格を取得したのがきつかけです。昭和57年に鹿児島で開催された高校総体式典参加団体で演奏する高校3校と小学校1校の指導を行ったのを皮切りに、県内各地域で指導を続けています。その中で常々感じているのは、「人を動かす」ことで、もたらされる感動。

印象深いのは子どもたちの指導です。昭和天皇ご臨席の全国植樹祭(昭和59年)に向けて指導した、旧牧園町立高千穂小学校の子どもたちは、ほぼ未経験の4年生。個性も能力もバラバラでしたが、3年かけて、演奏技術だけでなく、他者を思いやる心や保護者や学校の姿勢など、少しずつ変化して



現在もマーチングバンドの指導を続けている新福さん。

いく過程を目の当たりにしました。

また、奄美群島日本復帰50周年記念県民体育大会(平成15年)で、名瀬小学校を指導した際にも感動がありました。本番前の最後の練習を終えて飛行機に乗る際、学校で挨拶しそこねた児童が先生や保護者ともなつて空港まで見送りに来てくれ、私に向けて演奏してくれたのです。涙しながら聴いたあの「島育ち」という曲は、今でも私の心に残る感動の一曲です。こんな風に子どもたち、先生、学校、保護者、地域とともに一つの目標に向かうとき、人を動かすことの深さや出会いの大切さを実感します。

30年以上、指導や演出で活躍されている原動力は？

中学では吹奏楽部。3年生でキャプテンだった当時、先生やメンバーと参加した西部吹奏楽連盟主催の講習会が、私と音楽を強くむすびつけました。日本トップクラスのバンド演奏を聴いて、大いに刺激を受けた講習会は宮崎で催されたため、移動は列車。帰りの車内で先生がふと、「習ったことを復習してみようか」と。最後尾の車両に私たちだけということもあり、楽器を出してみんなで演奏を始めたんです。すると音がどんどん熱を帯びてきて…。

私は指揮をしていくうちに気付かな

かったのですが、いつの間にか他の車両から乗客が集まってきたりしてはありませんか(笑)。演奏後の拍手、聴いてくれた乗客の方々が駅で降りることに「ありがとう、頑張ってたね」と私たちに手を振る姿。その時の喜びと情景が、今日までの活動の礎となっています。

開会式典などの演出を担う 立場として、意気込みを 教えてください

鹿児島県は南北600kmにわたり、広大な県土を有しています。そこにある多様な自然や文化、歴史をこの身体感してきました。自身の経験と感動をもとに、今回のテーマである「文化維新は黒潮に乗って」とリンクさせ、メイソン会場とサテライト会場に一体感を持たせた演出を行う予定です。

鹿児島で生まれた歴史や文化、豊かな自然を若者たちの演奏・演技で表現できるように、皆で邁進中です。

地域を元気にするための 文化振興について、 考えを聞かせてください

セレモニーなどの企画や演出の担当も多く、伝統芸能をアレンジする機会もしばしば。演出は時間の制約がつきもので、こちらの都合で大幅に短縮す

ることもあります。伝統的な演舞や演奏では、受け継いできた人たちの憤りをぶつけられることも。もちろん、もつともな意見です。本物や本質を知るからこそ、心苦しさを感じながらの演出も少なくありません。

一方で、民俗芸能にスポットを当てると地域が活気づくことも体験しました。練習が始まってまず訪ねてくるのは古老の皆さんで、見学や会話を通じて演者とのつながりができます。人々の関わりが変わると、地域もよい方向へ変わります。今回の国民文化祭をきっかけにできた創作舞踊もあり、これから長く伝えられる文化となる期待感も生まれました。伝統や文化に新しい息吹を入れ、発展性を持たせていくのも重要だと考えています。

今秋、全国から素晴らしい文化が鹿児島に集結します。触れたことのない文化を楽しみ、学び、吸収する好機です。そしてぜひ、出会いの素晴らしさを実感してください。



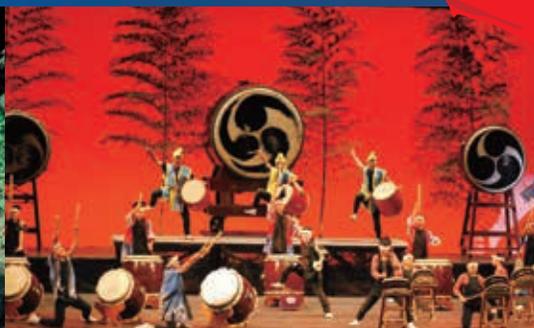
特集



「本物。鹿児島県～文化維新は黒潮に乗って～」

第30回 国民文化祭・ かごしま2015

まもなく
開幕!!



期間

平成27年

10月31日(土)

11月15日(日)

会場：県内全市町村

国内最大の文化の祭典、「第30回国民文化祭・かごしま2015」がよいよ開催されます！
テーマは「本物。鹿児島県～文化維新は黒潮に乗って」。
県内43全市町村を会場に、音楽・舞踊・美術や、伝統文化・郷土芸能などをテーマとした魅力的なイベントが多数開催されます。
南北約600kmにわたる広大な県土を舞台に、過去最多に迫る100を超えるイベントが実施され、全国から多数の来場者が見込まれています。
この機会に、多様な鹿児島の文化に触れ、温泉・自然・食など、「本物。鹿児島県」の魅力を全国に発信して、おもてなしの心で国民文化祭を盛り上げていきましょう。

開会式・オープニングフェスティバル

入場無料

[日 時] 10月31日(土) 午後2時30分～午後4時50分

[会 場] メイン会場：鹿児島アリーナ (鹿児島市)

*メイン会場は入場整理券が必要です。

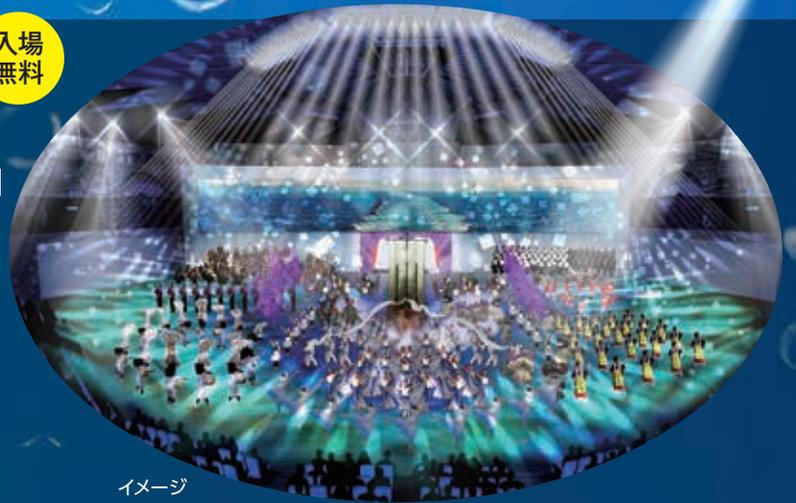
サテライト会場：日泊みなと公園 (西之表市)

奄美文化センター 万人ひろば (奄美市)

黒潮文化に育まれた南北600kmに渡る本県の魅力や多様性を、映像や演奏、パフォーマンスで紹介します。

メイン会場とサテライト会場をライブ中継で結んで、一体感をもったステージ演出に乞うご期待です。

多くの県民が参加し、県全体で「ひとつとべ!かごしま国文祭」を華やかに開幕します。



イメージ

「世界に誇れる鹿児島の文化を感じてほしい」

第30回国民文化祭県実行委員会 企画委員会委員

まつなが たろう
松永 太郎 氏 (演出家/㈱ニライスタジオ代表)



国民文化祭の開会式・オープニングフェスティバル、閉会式の演出を担当しています。

テーマである「文化維新は黒潮に乗って」を、分かりやすく県民の皆さんにお伝えできるよう、演出を考えています。まずは鹿児島の本物の魅力を認めること。そして現代にマッチした新しい魅せ方となるよう心がけています。

鹿児島は、黒潮の玄関口として海からさまざまな文化を享受してきました。文化とは、私たちの生活にまつわる全てのごとだと思えます。私たちが自身が自らのルーツを知ること、この鹿児島に生きていることを誇りに思

えるようになればと思います。出演するストーリーナビゲートキャストは、オーディションで選ばれた17〜20歳の男女14人で構成され、昨年からの歌、踊り、演技など全ての基礎レッスンを積み重ねてきました。体力作りや発声練習など地味ですが、良い演技をするために避けては通れない道です。みんなで励まし合って、チームとして成長しているように感じます。

今回、大勢の若い皆さんと一緒にステージを作らせていただいています。みな本来に能力が高く驚いていますが、この国民文化祭を機に、若者の感性で新しい鹿児島の文化を生み出して欲しい、文化維新を起こしてほしいと思います。

国民文化祭の期間中は、多くのイベントが全市町村で開催されます。興味のあるイベントに足を運んでいただき、県民の皆さんに、私たちの鹿児島が世界に誇れる素晴らしい文化をもって



入場無料

ウェルカムイベント

[日 時] 10月30日(金)

午後6時～午後8時

10月31日(土)

午前11時～午後8時

[場 所] 鹿児島アリーナ

多目的広場および

永吉中央公園 (鹿児島市)

全国からの多くの来場者を温かくおもてなし、開幕の喜びとともに、鹿児島ならではのさまざまな魅力を、ともに満喫しましょう。

県内各地に伝わる伝統芸能や郷土芸能、食文化など、本県独特の生活文化を紹介する野外ステージ、夜市などを開催します。



入場無料

閉会式・グランドフィナーレ

[日 時] 11月15日(日) 午後4時～午後5時55分

[会 場] 宝山ホール (鹿児島市) *入場整理券が必要です。

県内各地で開催されたさまざまな事業の様子を、映像を交えて振り返り、文化の「継承」と「発展」をキーワードに、県内・世界で活躍する若者たちが、演奏やパフォーマンス、創作芸能などを披露します。16日間に渡り繰り広げられた、「ひとつとべ!かごしま国文祭」の成果を集約し、この日をスタートに、次世代への文化継承と「新たなかごしま文化創造」への一歩を踏み出すメッセージを発信します。



イメージ

歴史に学び、

共に未来を考える

シンポジウム「明治維新と近代化遺産」



明治維新 150 周年

～日本、そして世界の未来へ～

【日 時】 11月9日(月) 午後1時30分～午後5時

【会 場】 かがしま県民交流センター 県民ホール (鹿児島市)

明治維新150周年を見据え、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である旧集成館を中心とした集成館事業をはじめ、近代化の礎となった明治維新を政治・経済の両面からワールドワイドに議論し、情報発信します。

5つのテーマでシンポジウムを開催

入場無料

鹿児島島の特性や魅力に関する5つのテーマを多様な視点から深く考察し、専門家による基調講演やパネルディスカッションを交えて情報発信します。

シンポジウム

「自然遺産と『しま』の生活文化」

わきゃしまぬ宝を世界へ

【日 時】 11月13日(金) 午後1時30分～午後4時20分

【会 場】 奄美パーク (奄美市)

奄美の自然の価値と、その自然と共生してきた島口(島の方言)や島唄などの生活文化を考えると、[奄美・琉球]の世界自然遺産登録の気運の醸成を図ります。



シンポジウム

「国際音楽祭と現代アート」

国際音楽祭と現代アートを通じた地域づくりへの提言

【日 時】 11月4日(水) 午後1時～午後4時30分

【会 場】 みやまコンセール (霧島市)

日本で最も歴史がある霧島国際音楽祭と、映像や舞台など現代アートの未来について情報発信します。



シンポジウム

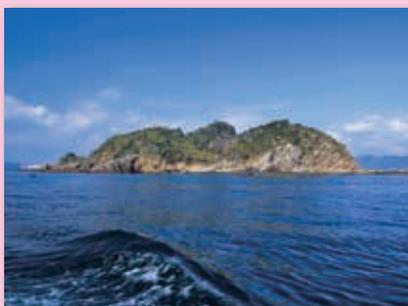
「黒潮文化」

黒潮がもたらす交流 ～大隅の可能性～

【日 時】 11月3日(火・祝) 午後1時～午後5時

【会 場】 志布志市文化会館 (志布志市)

黒潮を通じた大隅と諸地域との交流について、歴史的視点(古墳時代～中世)とともに、現代から将来に向かっての可能性を考えます。



シンポジウム

「温泉文化と食文化」

プロとフロが語る「本物。鹿児島県」

【日 時】 11月6日(金) 午後1時30分～午後4時

【会 場】 指宿白水館 ルビーの間 (指宿市)

「健康」をキーワードに、温泉と食の魅力、観光・おもてなしと併せて議論するとともに、「おごじょ(女性)パワー」も情報発信します。



※シンポジウムは全て入場整理券が必要です。申し込みは9月30日(水)まで。

他にも、鹿児島島の伝統文化や伝統工芸品、食を体感できるイベントが目白押し。
開催日時・場所など詳細は、国民文化祭ホームページでご確認ください。

入場無料



11/14・15

鹿児島アリーナ
・永吉中央公園

暮らしと共生・生活文化のフェスティバル

※体験料など一部有料のものがあります。

「展示体験ゾーン」「ステージプログラム」「食のイベントゾーン」「キッズコーナー」の4つで構成されるフェスティバル。海外からも高く評価されている日本の“カッコイイ”伝統文化を、見て・触れて・感じることができる、大人も子供も楽しめる充実の内容です。



「食のイベントゾーン」では、Show-1グルメグランプリ地方大会をはじめ、県内各地の黒牛、黒豚、焼酎など本島の“本物の素材”や個性豊かな新特産品など魅力あふれる食文化を十分に堪能できます。



「キッズコーナー」では、竹トンボやけん玉など昔ながらの遊びやぐりぐり・さくらのふわふわなど楽しい催しが満載です。



ステージでは、十二単など着物の着付けショーやプロ棋士とアマチュア棋士との囲碁の公開対局などがあるほか、薩摩琵琶・天吹・ゴッタンといった鹿児島ならではの楽器の演奏もあります。屋外ステージでは示現流・目録流の実演や体験も。

各文化団体や鹿児島のアーティストが繰り広げる、魅力たっぷりのステージをお楽しみください。



「展示・体験ゾーン」では、お茶・着物・お花・お香などの伝統的な生活文化や、囲碁・連句・トランプなどの娯楽文化を展示、体験できるほか、大島紬や薩摩焼などの伝統的工芸品も展示紹介します。

数寄屋造りの、本格的な茶室も必見!

11/7・8

かごしま県民
交流センター

国際交流フェスティバル

※入場整理券が必要です。



大会テーマである「本物。鹿児島島～文化維新は黒潮に乗って～」のように、黒潮の流れに沿って本県との交流が盛んなアジアの国々で、舞踊を中心とした文化活動を行っている団体を招へいし、鹿児島島の文化芸術との交流を行います。

10/31・11/1

アミュ広場

かごしま漫画フェスティバル

鹿児島島の「黒文化」をはじめ、黒潮文化を育んだ鹿児島島をテーマとする漫画作品を全国公募し、「かごしま漫画クロデミー賞」を開催。また、本県出身の漫画家、甲斐谷忍氏などによるトークショーのほか、「ぐりぐり」を使った漫画体験教室、出版社による移動編集部、アニメソング演奏会などを開催します。

【展示】10/31・11/1：アミュ広場

11/2～11/15：アミュプラザ6階



10/31～11/15

仙巖園ほか

お茶の祭典

※お茶券など一部有料のものがあります。

茶道・煎茶道の各流派によるお茶会や、駅や空港でのお茶のおもてなし、県民交流センターでは百円茶屋や手もみ体験など、さまざまな趣向を凝らしたイベントで、お茶を楽しんでいただけます。



10/28～11/15

黎明館

メディア芸術祭

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどの優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供する「文化庁メディア芸術祭地方展」を開催。

作品に触れ、異空間を身体全体で感じられる展示や上映を楽しめます。



鹿児島は特色ある食文化や温泉、豊かな自然など「本物」の素材にあふれています。国民文化祭をきっかけに、鹿児島を訪れる多くの方々へ感動を体験していただくため、さまざまな準備に取り組んでいます。

県民総参加の取り組み

「鹿児島ならではのおもてなしで歓迎」

国民文化祭を支える「おもてなしボランティア」の接遇研修などを担当しています。メンバーは県内各地から職種・年齢も幅広く、鹿児島の為に、と熱い想いを抱いて参加されています。

県民の皆さんには、形にとらわれず、鹿児島らしいおもてなしでお迎えしてほしいと思います。県外から来られた方々との何気ない会話から、ふるさとと自慢や地域の情報を発信する、そんな世間話がとても大事です。

また、各イベントの開催日を把握するなど、情報のアンテナを常に張ることも大切な心がけです。

ボランティアを通して、県外の方々に鹿児島の食や、焼酎の楽しみ方を伝えるなど、相手の話も傾聴しながら「ミニミニセッション」として「また訪れたい」という

感動が生まれます。そうしたことで、県外のお客様が、鹿児島島のファンになってほしいですね。

国民文化祭は、文化の継承とふるさとへの新たな発見になるきっかけであり、今まで見たことのないものを見られるチャンス。

開催期間の16日間を効率よく回するために、わが家、または友人同士のイベントカレンダーを作るのもおすすめです。出演者・観客・運営スタッフがそれぞれの持ち場を全うして、気持ちが良い方向を向けば、きっと素晴らしい大会になると思います。

人と物の流れがうまく循環して、「本物。鹿児島県」のイメージを裏切らないよう、あらゆる県民のおもてなしで大会を支え、県内各地でワクワクドキドキする国民文化祭にしていきたいですね。



第30回国民文化祭
県実行委員会 企画委員会
広報部会 部長

なかむら ともみ
中村 朋美 氏
(フリーアナウンサー)

国民文化祭記念開発商品ができました！



【オフィシャルシール】



お茶の美老園
「さつまほまれ」

神酒造株式会社
「千鶴飛来」

国民文化祭にえられる多くの方々に、鹿児島県の優れた特産品をPRするため、特産品メーカーと連携して国民文化祭記念商品を開発しています。

鹿児島県は全国第二位の生産量を誇るお茶の産地です。鹿児島茶を使用したかごしま国文祭ラベルのペットボトル茶「さつまほまれ」は、通常ペットボトルには使用しない上級茶葉を使用しており、すっきりとした中にも深い味わいが感じられる商品です。

また、鹿児島といえばやはり焼酎。県外から来られる多くの方々に、鹿児島の焼酎文化を楽しんでもらうため、かごしま国文祭記念焼酎「千鶴飛来」も数量限定で発売中です。

その他にも、鹿児島県特産品協会とタイアップし、オフィシャルシールを貼った商品が販売されていますので、ぜひお買い求めください。

国民文化祭開催記念プレミアムお得旅



国民文化祭の開催期間を含む、平成27年9月から翌年1月にかけて、多くの方々に鹿児島にお越しいただくため、旅行会社と協力して、「お得」な旅行商品を用意しました。

9つの泉質を楽しめる霧島温泉郷や、天然砂むし温泉の指宿市をはじめ、世界自然遺産の屋久島、日本最大のロケット発射場のある種子島、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産など、さまざまな魅力を体感できるものばかりです。また、県内全域を対象とした、国民文化祭のイベント巡りや歴史探訪、焼酎蔵巡り、郷土料理体験などメニューも豊富です。

最大割引1万4千円、離島なら最大2万4千円割引のお得な旅行商品を活用して、家族や友達との思い出づくりはいかがでしょう。大手旅行会社の店舗やホームページにて販売しています。

● 問い合わせ先：国民文化祭開催記念プレミアムお得旅事務局 ☎099 (259) 9070

小特集

祝・「明治日本の産業革命遺産」 世界文化遺産登録決定！

日本の近代化の先駆け 集成館事業

「鹿児島から世界文化遺産を」この世界文化遺産登録を目指す取り組みは、平成17年に鹿児島県が実施したシンポジウム(かごしま宣言を発表)を契機に始まりました。

それから約10年に及び取り組みを経て、去る7月5日、「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録が決定しました！

今回は、当資産の世界文化遺産としての価値を再確認するとともに、これらの資産を守り、次の世代に引き継いでいくための取り組みについて紹介します。



祝・世界文化遺産登録！
喜びを分かち合った
ドイツと鹿児島

ドイツのボンにおいて、第39回ユネスコ世界遺産委員会が開催され、7月5日(日)に本県が世界文化遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産」の審議が行われました。

7月5日(日)の現地時間午後3時過ぎ(日本時間 同日午後10時過ぎ)に、審議が開始され、政府代表団の一員として参加した世界遺産登録推進協議会(本県を含む九州・山口を中心とした8県11市で構成の会長である伊藤知事をはじめ関係者が見守る中、現地時間午後3時37分(日本時間 午後10時37分)に世界文化遺産登録が決定しました。

関係者らは互いに握手を交わすなど、喜びを分かち合いました。

鹿児島でも、登録決定の瞬間を見届けるため、本県と鹿児島市が共催で、世界遺産委員会の審議の同時中継を視聴する「ユネスコ世界遺産委員会パブリックビューイング」を、鹿児島市磯地区にある「名勝仙巖園」で開催しました。

集まった県民や関係者約1200人は、世界文化遺産誕生の瞬間、歓喜に湧き、拍手が鳴り響きました。その後、構成資産のひとつである「旧集成館機械工場(現在の尚古集成館本館)」前に移動し、来場者全員でくす玉を割って登録決定を祝いました。

「若手会」では「明治日本の産業革命遺産」のPR活動等を行っています！

私達は、鹿児島市を拠点に大学生を中心とした約30名のメンバーで活動しています。活動内容は、県内構成資産周辺の清掃活動に加え、自分たちと同年代の若い世代を中心に多くの方に「明治日本の産業革命遺産」についてもっと知ってもらえるよう、自分たちでアイデアを出し合いながらイベントなどを企画・運営しています。

最近では、7月15日～16日の2日間にかけて、照国神社の六月灯で、舞台発表を行ったことに加え、自分たちで手作りした展示パネルなどを使って来場者の方々に県内構成資産などについて説明をしたり、集成館事業などの説明を交えながら島津斉彬公の銅像のレリーフについて解説するなどのPR活動を行いました。



若手会代表
なかい ももこ
中井 萌々子さん



島津斉彬公のレリーフを解説するスタッフ



手作りの展示パネルが注目されています！



子どもたちもクイズに参加し、大盛り上がり♪

展示ブースには外国の方も含む多くの来場者が足をとめてくださり、幅広い年代へ自分たちで説明を行うことで、説明する際に工夫しなければいけない点などの課題もわかり、私達若手会メンバーにとっても大変勉強になりました。

今後、「明治日本の産業革命遺産」のPR活動を通じて、もっと色々な方に鹿児島の歴史や魅力を知っていただけるよう、メンバーみんなで力を合わせながら活動していきたいと思えます。

次世代へ引き継いでいくために

県では、世界文化遺産である「明治日本の産業革命遺産」を次世代へ引き継いでいくために、次のような取り組みを行っています。

取り組み1

県内の全小学5・6年生に、集成館事業を中心に日本の近代化に鹿児島県が果たした役割についてわかりやすく説明した副読本「かごしまタイムトラベル」を配布し、授業や課外学習で活用

取り組み2

小・中学生を対象に、水車づくりなどの体験を通じて、当時の技術や集成館事業について楽しく学べるワークショップを開催

取り組み3

テレビ番組とタイアップし、集成館事業や「明治日本の産業革命遺産」を紹介する企画番組を制作

取り組み4

県内各地で「明治日本の産業革命遺産」をテーマにした講演会などを開催

取り組み5

ボランティアガイドや県内の観光事業者などを対象に、集成館事業や県内の構成資産、「明治日本の産業革命遺産」についての研修会や実地研修などを開催



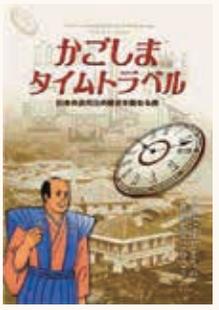
【講演会】



【水車づくり体験】



【校外学習】



【かごしまタイムトラベル】

【問い合わせ先】 県庁世界文化遺産課 ☎099(286)2364

県政の動き

6月11日(木)～8月10日(月)

- 6月13日(土)
 - ★口永良部島の噴火に係る安倍内閣総理大臣視察
- 6月25日(木)
 - ★赤崎勇名城大学終身教授県民栄誉表彰授与式
- 6月26日(金)
 - ★かごしま遊楽館来館者900万人達成記念セレモニー
- 6月27日(土)
 - 薬物乱用防止6・26ヤング街頭キャンペーン
- 7月1日(水)
 - LCC(成田-奄美大島)就航1周年
- 7月1日(水)
 - ★スペシャルオリンピックス夏季世界大会出場選手の知事表敬訪問
- 7月5日(日)
 - ★世界文化遺産登録決定
- 7月8日(水)
 - 農業開発総合センター開所10周年研究成果発表会
- 7月8日(水)～8月12日(水)
 - 自動車税納税お知らせセンター開設
- 7月15日(水)～8月2日(日)
 - ★第36回霧島国際音楽祭
- 7月18日(土)
 - ★「英国留学生派遣150周年記念薩摩スチューデント」派遣出発式
- 7月21日(火)
 - 夏の交通事故防止運動
- 7月22日(水)
 - 国民体育大会開催内定書受領
- 7月23日(木)～7月27日(月)
 - ★鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流
- 7月29日(水)
 - マリンポートかごしま親水広場オープン
- 8月7日(金)
 - かごしまこども環境大臣任命式

★は写真入りで紹介

6月13日(土)

口永良部島の噴火に係る安倍内閣総理大臣視察



5月29日に発生した口永良部島新岳の噴火に係る被害状況を把握するため、安倍内閣総理大臣が島民が避難生活を送っている屋久島町を訪問した。

安倍総理は、伊藤知事や池畑県議会議長などとともに、屋久島町総合福祉センター「縄文の苑」や宮之浦公民館などの避難所を訪問し、避難者の方々から避難の状況などの聞き取りを行うとともに、避難している小中学生などへの激励を行った。

また、屋久島町役場宮之浦支所では、伊藤知事と荒木屋久島町長から安倍総理に対して、被害状況や避難状況について説明した後、今後の対応などについての意見交換が行われた。

6月25日(木)

赤崎勇名城大学終身教授県民栄誉表彰授与式



県では、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望と活力を与えるとともに、鹿児島県の名を高めることに顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民栄誉表彰」として表彰している。

今回は、本県出身者として初めてノーベル賞を受賞した名城大学終身教授の赤崎勇さん(南九州市知覧町出身)に、伊藤知事から表彰状および記念品が贈呈された。

赤崎さんは、青色発光ダイオード(LED)を世界で初めて実現し、平成26年12月10日に天野浩さん、中村修二さんらとともにノーベル物理学賞を受賞した。

かごしま遊楽館来館者900万人達成記念セレモニー

東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」の来館者が900万人に達した。

900万人目の来館者は、東京都東久留米市在住の錦織敬子さん。かごしまPRキャラクター「ぐりぶー」のかわいさにひかれて初めて来館され、「これからはぜひリピーターになりたい」とのこと。

セレモニーでは、「ぐりぶー」も加わり、くす玉を割って節目の達成を祝った。

同館には、今後もイベントなどの開催で更なる誘客を図り、首都圏における本県物産と観光の受け皿として発信拠点として寄与することが期待される。



スペシャルオリンピックス 夏季世界大会出場選手の知事表敬訪問

知的障害のある人たちの4年に1度のスポーツの祭典「2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス」にバスケットボールとバドミントンの日本代表として出場する本県選手6人が伊藤知事を表敬訪問した。

知事は「本県から6人ももの日本代表選手が選ばれることは大変素晴らしいこと。大会では、日頃の練習の成果を存分に発揮して、大会を十分に楽しんできてほしい」と選手を激励した。

男子バスケット日本代表の副主将を務める奈良崎誠選手は「悔いのないように戦ってきます」と意気込みを語った。



世界文化遺産登録決定

ドイツのボンで開催された第39回ユネスコ世界遺産委員会において、本県の旧集城館などからなる「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録が決定した。

鹿児島市の仙巖園において、本県と鹿児島市が開催した「パブリックビューイング」では、約120人の県民の方々が世界文化遺産誕生の瞬間に立ち会い、会場は拍手に包まれた。

また、7月14日には、伊藤知事ほか関係自治体の首長などが、安倍晋三内閣総理大臣や関係大臣を訪問し、世界文化遺産登録に対して、直接謝意を伝えるとともに、今後の国の支援を要請した。



7月15日(水)～8月2日(日)

第36回霧島国際音楽祭



第36回霧島国際音楽祭は国内外から著名な音楽家や多数の受講生を迎え、みやまコンセールのメイン会場に県内各地でコンサートや講習会などを開催した。

今回は、堤剛音楽監督によるバッハ作曲「無伴奏チェロ組曲」全曲演奏に始まり、音楽祭の講師・アーティストなどがそろって一夜限りのスーパーオーケストラ「キリシマ祝祭管弦楽団」公演やダン・タイ・ソンのピアノ協奏曲など、多彩なプログラムで訪れた多くの聴衆を魅了した。

音楽祭開催期間中の参加者数は、1万8000人を超え、大盛況であった。

7月18日(土)

「英国留学生派遣150周年記念薩摩スチューデント」派遣出発式



派遣事業実行委員会は、薩摩藩英国留学生派遣150周年を記念した県内青少年19人の英国派遣を直前に控えた7月18日、留学生出発の地、いちき串木野市羽島の薩摩藩英国留学生記念館で出発式を開催した。

出発式では、団員を代表して羽島中学校3年の藤崎麗美さんが「当時の留學生がどのように苦労したのか学び、帰国後は多くの人々に留學生たちのことを伝えたい」と抱負を述べた。

一行は、7月19日から29日の行程で、留學生が学んだユニバーシティ・カレッジ・ロンドンにおいて交流プログラムへ参加した他、留學生ゆかりの地などを訪ねた。

7月23日(木)～7月27日(月)

鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流



鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流は、両県が宝暦年間(1701年)の木曾三川の治水工事を成し遂げた薩摩義士の偉業を縁として、姉妹県盟約を締結(昭和46年)したことをきっかけに、昭和47年からそれぞれの青少年の受け入れと派遣を相互に実施している。

今年も、本県青少年20人が岐阜県を訪問し、薩摩義士ゆかりの治水神社や清江寺で、両県の歴史的な深い関わり合いを学び、関鍛冶伝承館や白鳥おどり会場などを回り、岐阜県の文化・自然を体感し、また、グループ討議などの交流活動とおして、友情の絆を一層深めた。

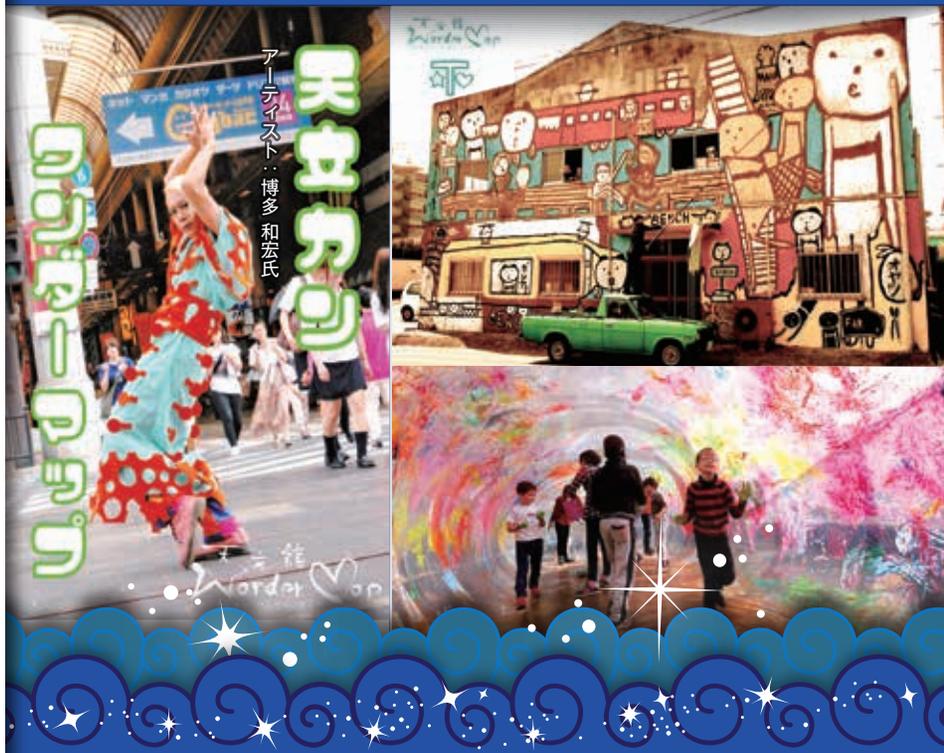
なお、前日には両県の絆を生かした施策を展開するための「鹿児島県・岐阜県知事懇談会」が東京で行われた。

ひとつべ!

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

かごしま国文祭

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]



天文館がこれまで見たことのないアート空間に!

「第30回国民文化祭・かごしま2015」では、現代アートを楽しんで体験・体感し、まちなかをお祭り気分盛り上げるため、「まちなかインスタレーション」〜天文館ワンダーマップ〜を、10月31日(土)〜11月15日(日)、県内最大の繁華街・天文館各所で展開します(インスタレーション=空間芸術)。

プロデュースは、「吹上ワンダーマップ」(日置市吹上町2008年〜実施)でお馴染みの鹿児島市出身のアーティスト博多和宏氏。現代美術作家の椿昇氏(京都造形芸術大学教授)の新作展示をシンボルとして、全国から集まった新進気鋭のアーティストたちが、作品の公開制作、展示、ワークショップなどのパフォーマンスを繰り広げます。

「Wander」歩き回る、さまざまの「意味から」アートに導かれ、地図を見ながら散策してほしい」という博多氏の思いを込めた「天文館ワンダーマップ」では、絵画作品はもちろんのこと、映像作品や知覚彫刻・建築・写真など、さまざまなジャンルの現代アートが一堂に会します。

●「シマ」にいきづく文化と新たな風(文化)のフェスティバル

大和村は、豊かな自然と、古来より伝統芸能・文化が地域行事とともに色濃く息づく、魅力あふれる村です。

そんな「まほろば・やまと」の魅力を広く知っていただき、後世に伝えるため、かごしま国文祭では、11月15日(日)大和村体育館にて、「シマにいきづく文化と新たな風(文化)のフェスティバル」を開催します。

ステージイベントは、3部構成となっております。

オープニングでは、「いにしへの文化」と

題して、「大和浜の棒踊り」など大和村の伝統行事を披露するとともに、祭礼文化の記録映像を鑑賞します。

続く「新たな風」ステージでは、現在、「大和村の情景」および「まほろばの情景」の2つのテーマで募集中の、フォトコンテストの入賞作品の表彰式を行います(入賞作品は国文祭期間中、大和村防災センターに展示)。

また、博物学者の荒俣宏氏による、自然と文化の関わりについての講演や、カラオケバトルなどで活躍し、祖父が大和村出身

の城南海さんによるコンサートを開催するなど、多彩なプログラムとなっております。

フィナーレは、「シマジマの夜」と題し、相撲口上や前相撲を行った後、奄美の伝統芸能である各集落の「八月踊り」を、来場者と一緒に踊って締めくくります。

大和村の文化をまるごと一日満喫するイベントと、小さな村ならではのおもてなしで、奄美の文化を堪能してみませんか。皆さまのご来場をお待ちしております。

〈大和村実行委員会〉



荒俣 宏氏



城 南海さん

【問い合わせ先】

県庁生活・文化課
国民文化祭室
☎099(286)2863



<http://kagoshima-kokubunsai.jp/>

HITTOBE! KAGOSHIMA KOKUBUNSAI

フォトコンテストのイメージ
(場所:奄美フォレストボリス)



大和浜の棒踊り

共生・協働の 地域社会づくり

枕崎七夕の会
TEL 090 (7395) 8264

街を彩る「七夕飾り」による地域活性化をめざして

七夕の季節になると、色とりどりの七夕飾りを軒先に並べ、にぎやかで活気の溢れる風景が見られていた枕崎でしたが、時代の経過とともにこのような風景が影を潜めるようになりました。

枕崎七夕の会は、昔のように七夕飾りで街を活気づけたいとの思いを共有する約20人の有志の協力で、平成21年にスタートしました。

地域住民、幼稚園や保育園などにも呼びかけて、庭先や駅前通り・市役所通りに約130本の七夕飾りを復活させたところ、「昔の元気だった枕崎になったみたい、綺麗だね、嬉しいね、ご苦労さん、ありがとうね」など、感激する声が聞かれ、活動は翌年につながりました。

枕崎七夕の会では、「枕崎を元気にしたい！」その思いで年月を重ね、地域の団体や多くの市民の協力を得て活動を展開しています。活動資金となる協賛団体名入りの七夕旗の掲揚や、フェイスブックに写真を



七夕飾り付けの様子

使ったカウントダウンを掲載して七夕月間を盛り上げ、メインの七夕飾りは、毎年8月上旬に行われる枕崎港まつりの日に合わせて「枕崎の夏の風物詩」として通りや庭先を彩り、祭りに花を添えます。

平成25年からは、七夕旗を手にして人文字づくりにもチャレンジ、1年目は枕崎の「風の芸術展」にちなみ「風」を形づくり、多くの市民が「枕崎愛」で思いを一つにしました。

7年目の今年は、7月5日にNPO法人「子育てふれあいグループ自然花」の七夕祭りとコラボで七夕ライブを開催しました。協賛の七夕旗も333本に達しました。

また、戦後70年の今年は、「我がまちふるさと枕崎」が戦後の焼け野原から復興していく様子、過去の歴史、風景などを振り返る企画写真展を実施しました。3年目の人文字づくりは、平和の「和」、人と人との「和」、「なごみ」などの意味を込めて「和」を



街を彩る七夕飾り

作りました。

一言で七夕飾りと言っても、多くの参加の呼びかけ、笹竹の切り出しや配布、設置、後片付けなどの苦労もあります。地域のみなさんのさまざまな願いを込めた七夕飾りがたなびく活気ある様子を見て、「多くの市民のみなさんが笑顔になり、枕崎がもっと元気になってほしい」と会長の板敷さんは語ります。

枕崎七夕の会は、地域や家庭で当たり前に七夕飾りが飾られるようになることを、枕崎の市民が丸となっていくことを目指しており、今度もさまざまな団体と連携した活動が期待されています。



人間文字づくりにチャレンジ

代表者からひとこと



枕崎七夕の会 いたしき ひろみ
板敷 浩実さん

枕崎の七夕が夏の風物詩として広く市民のみなさんの心を癒やし、夢・希望として、根付いてほしいという思いで活動しています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。

おいしく・気軽に・ヘルシーに

かごしま減塩レシピ

VOLUME 09

減塩レシピ集



一般の方から投稿していただいたレシピをまとめました！ぜひホームページをご覧ください。



かんたんヘルシー減塩レシピQRコード

鹿児島県 かんたんヘルシー減塩レシピ

検索

とうがんとサラダ豆の寄せ物

副菜



《食塩を無理なく減らすポイント》 しょうゆを酢やだし汁などで割って使うと、食塩を上手に減らせます。

材料(2人分)

- えび 2尾(20g)
 - 干しいたけ 1g
 - 清酒 少々
 - にんじん 10g
 - とうがん 250g
 - さやいんげん 10g
 - サラダ豆(市販) 35g
- A [
- だし汁 100ml
 - うすくちしょうゆ 小さじ1強(4ml)
 - みりん 大さじ2分の1
- B [
- 粉寒天 2g
 - 水 100ml
- C [
- 粉ゼラチン 2g
 - 水 小さじ1
- <たれ>
- 酢 小さじ1
 - しょうが汁 小さじ1
 - こいくちしょうゆ 小さじ1

作り方

- 皮をむいたとうがん、水で戻した乾しいたけ、1cm角に切ったにんじんに、Aを加え煮る。
- さやいんげんは食べやすい大きさに切り、茹でる。
- えびは背ワタを取り、食べやすい大きさに切って清酒をふる。
- 粉寒天は水を加えて(B)火にかけてよく溶かし、3.のえびを入れる。火を止めてから、水でふやかした粉ゼラチン(C)と1.、2.、サラダ豆を加える。
- 型に入れて冷やし固める。
- たれをつけていただく。

【POINT】 とうがんの意外な食べ方です。ヘルシーであり、冷やし固めることによって見た目も涼しげです。しょうが汁と酸味を加え味を調えました。

【レシピ作成/東郷はるみ様(奄美市)】

鹿児島島の旬の食材を使用し、塩分は控えめ・おいしさはたっぷりの減塩レシピをご紹介します。

食塩摂取量の目標(成人男女平均)は、1日あたり8グラム未満。これに対して、鹿児島県民の食塩摂取量は、1日あたり10・3グラムです。目標に近づくため、食塩を1日2グラム減らした食生活を心がけ、生活習慣病をおいしく予防しましょう。

今回使用する旬の食材はとうがんです。サッパリとした口当たりが特徴のとうがんは、鹿児島県を代表する夏野菜の一つです。とうがんは、その95%が水分で、100グラムあたり16キロカロリーと低カロリー。味は控え目でクセがないので、いろいろな料理法が楽しめます。今回は、冷たくしていただく料理ですので、口あたりもよく見た目も涼しげで、暑い時期にぴったりです。

栄養成分：1人あたり

エネルギー	80kcal
たんぱく質	6.3g
脂質	1.0g
炭水化物	12.2g
食物繊維	4.0g
食塩相当量	0.9g

大地の鼓動と開拓者精神が感じられる火の島

しま じま
島々

★ **もよう** ★

vol. 9

Suwanosejima

諏訪之瀬島

**国内有数の火山島は
移住者が歴史を紡ぐ**

時折モクモクと噴煙を上げる御岳が島のシンボル。諏訪之瀬島では、長期にわたり御岳が噴火を繰り返しており、現在も活発な火山活動が続いています。

諏訪之瀬島は文化10年(1813年)の大噴火から約70年間は無入島でした。明治時代になって奄美大島出身の藤井富伝(とみでん)が入植し、再び人の住む島となりました。また、昭和40年代には、既存の制度や価値観を否定し、自然への回帰などを提唱す



▲島のシンボル御岳
マルバサツキ▶
◀ 秘湯 作地温泉

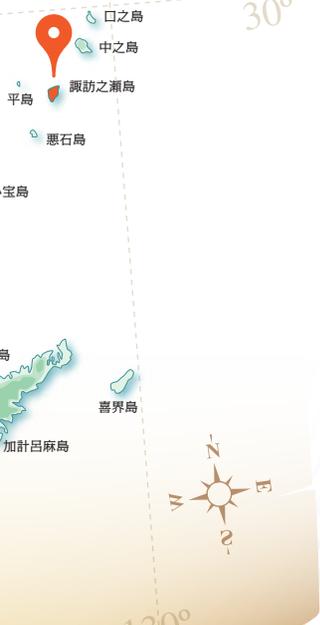


畜産も島の主要産業です。諏訪之瀬島には3つの牧場があり、牛が育成されています。その広さは合計で約71ヘクタール。火山の裾野で牛がのんびりと遊ぶ牧歌的な風景も島の見どころです。

好漁場の多いトカラ列島の中でも、諏訪之瀬島は漁業が盛んな島です。近海はカツオやサワラ、イセエビといった海の幸の宝庫。産卵のために集まったところを網ですくい獲るトビウオ漁も、初夏の風物詩となっています。また、ロウニンアジなどの大物が釣れることから、多くの釣り人が島を訪れます。

**自然の恵みたっぷり
釣り人にとっても憧れの地**

る「ヒッピー」と呼ばれる人々が移住し、都会から来た若者や外国人などが共同生活を行っていました。その中には島に定着した人も少なくありません。このように変化に富んだ歴史も諏訪之瀬島の特徴です。



船でしかいけない秘湯中の秘湯「作地温泉」をはじめ、珍しい貝殻や星砂が採取できる「ナハ浜」、乙姫伝説の残る「乙姫の洞窟」といった名所もあります。
また、十島村では「トカラ列島島めぐりマラソン大会」を毎年秋に開催。これは村営定期船を利用して十島村の7つの島を走るというユニークなマラソン大会です(平成27年度の参加者募集はすでに終了しました)。

島々メモ

溶岩原が桃色に染まる

マルバサツキ

島北西部の溶岩台地はマルバサツキの大群生地となっています。マルバサツキはツツジ科の低木で、鹿児島県南部から南西諸島にかけて自生しており、十島村の村花にもなっています。低地では5~6月、400m以上の高地では7月~8月に開花。山肌が一面ピンク色に染まる景観は圧巻です。



- [位置] 北緯29度36分41秒/東経129度42分11秒
- [面積] 27.66km² [周囲] 24.5km
- [人口] 72人/33世帯(平成27年4月末現在)
- [地形] 標高799mの御岳を最高峰とする火山島
- [主な産業] 畜産業、農業、漁業
- [アクセス] 鹿児島港から村営の「フェリーとしま(1,391t)」が週2便運行。所要時間は鹿児島港から約8時間。

問い合わせ先:十島村役場 ☎099(222)2101

(所在地は鹿児島市内)

本物。鹿児島真産品訪
特探

2014かごしまの新特産品コンクール 鹿児島市長賞

大島紬。ポンチヨ
「奄美の杜」

大島紬の生地全体に奄美の妖精「ケンムン」やソテツなどをそれぞれ表現したシヨール風ポンチヨ。幾通りもの着こなしが楽しめます。
鹿児島市にある大島紬洋装工房TOKARA（叶織物）の窪田かおるさん
にお話を伺いました。

素敵なデザインですね

こだわったポイントは

今後の抱負を聞かせてください



大島紬ポンチヨ「奄美の杜」
価格108,000円(税込) (縦37cm×横145cm)

大島紬ポンチヨ「奄美の杜」は、奄美の自然をテーマに「海」、「ケンムン(奄美の妖精)」、「ソテツ」、「星空」、「魚」の5種類を制作。奄美の雄大で躍動的な自然を、同じく奄美の自然が育んだ伝統的工芸品である大島紬で表現しました。奄美と大島紬の魅力をより深く感じていただけたと思います。

県内外に出展する機会が多く、出展先では大島紬の良さをお伝えしながら、商品に対するご意見などを直接伺うのですが、「こんな大島紬は今まで見たことがない」と好評です。
一般的な大島紬は、パターン化した図柄を繰り返してひとつの反物を制作しますが、私たちの工房では図柄をパターン化せずに1枚の絵画のような反物を織り上げます。今回ポンチヨを制作したのは、当工房の特徴である生地一面に描かれた図柄を生かしたかったから。洋服に仕立てると生地を裁断しなくてはならないため、大きな図柄はわかりにくくなってしまいますが、ポンチヨにすることで、ダイナミックな図柄が際立つ仕上がりになりました。通常、分業で行う大島紬の糸の加工、染め、織り、仕立ての作業を全て当工房で行っていることが自由な制作を可能にしています。



洋服に仕立てやすい生地にするため、工房独自の技法で織り上げます。



「新しい商品づくりには、両親の助言が不可欠です」と語る窪田さん。



プレゼントコーナー

大島紬創作織「Color Osima」がま口ポーチを2名様にプレゼント。(縦11cm×横15cm:赤 または青) ※色は選べません

応募締切 平成27年10月30日(金)

応募方法

ハガキ、FAXまたは電子メールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業
⑦電話番号 ⑧プレゼント商品名を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告

**第43回企画展
新発見！かごしまの遺跡2015
～発掘速報展～**



平成26年度に発掘調査や整理事業・報告書刊行を行った遺跡を中心に、最新の情報を紹介します。近代の貴重な産業遺産として話題となった金山水車跡や立小野掘遺跡から出土した日本最古型の青銅製鈴(期間限定展示)など、注目される資料を展示します。

【期間】11月15日(日)まで
【会場】上野原縄文の森 展示館
企画展示室
【入場料】展示館利用料金
【問】上野原縄文の森
☎0995(48)5701

**プラネタリウム
「夢とロマンの星空散歩
～秋編～」**



秋の星空案内では、「ペガサス座」、「カシオペア座」、「アンドロメダ座」など秋の主な星座のさがし方やエピソードなどを紹介します。また、創作物語「つながる命 ～ウィルソン株と星空と～」をお送りします。

【期間】9月10日(木)～11月23日(月)
【時間】午前11時～、午後1時30分～、
午後3時～(1日3回、各30分間)
【会場】宝山ホール4階 プラネタリウム
【入館料】小・中学生：110円、
高校生以上：200円
【問】県立博物館 ☎099(223)6050

**楠隼中学校・楠隼高等学校
入学者選抜説明会**



楠隼中学校・高等学校の入学者選抜に関する説明会を9月下旬から開催します。

楠隼中学校・高等学校について、より詳しく知っていただけるよう、資料をお配りして説明します。質疑応答の時間も準備しています。また、説明会終了後には、個別の質問にも対応します。

事前の申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

【入学者選抜等説明会日程】
○9月21日(月) 肝付町、西之表市
○9月22日(火) 徳之島町
○9月23日(水) 霧島市、曾於市、奄美市
○9月27日(日) 志布志市、鹿屋市

このほか、11月中旬まで県内外各地で説明会を開催します。時間・会場など詳しくは楠隼中学校・高等学校のホームページやブログを確認ください。

【問】県立楠隼中学校・楠隼高等学校
☎0994(65)1192

催し

**県立博物館 企画展
「写真展 百年の記憶
ウィルソンの見た鹿児島島の自然」**

屋久杉の最大枯木ウィルソン株の発見者 E. ウィルソンは、約100年前の大正3年に日本を訪れ700枚あまりの植物写真を撮影しました。写真のうち鹿児島島では120枚を撮影しています。ウィルソンの写真と同位置で撮影した現在の写真を展示していますので、鹿児島島の自然や文化の移り変わりを感じてください。

【期間】9月5日(土)～2月28日(日)
【時間】午前9時～午後5時
【会場】宝山ホール(県文化センター)
4階化石展示室
【入館料】無料
【問】県立博物館 ☎099(223)6050



試験

**身体障害者を対象とする県職員
採用選考試験を実施します**

【試験区分】一般事務、警察事務

【受験資格】

・身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳(1級～6級)の交付を受けていること

・年齢は18歳～30歳(平成28年3月末現在)

※このほか、居住地などの要件があります。

【受付期間】9月11日(金)～9月30日(水)

※インターネットによる受験申し込みは、9月11日(金)～9月29日(火)

【第1次試験日】11月8日(日)

【試験地】鹿児島市

【その他】

試験案内および受験申込書は、県庁など県の機関で配布しています。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

【問】県人事委員会事務局総務課
☎099(286)3893・3894

くらし

**関西へはフェリー「さんふらわあ」
でゆったり船の旅を**



フェリー「さんふらわあ」は志布志港と大阪南港の間を毎日運航しています。

夕方出港して翌朝到着するので、その日はゆっくり関西を楽しめます。

往復1万円からの「弾丸フェリー」や「船に泊まろう。」などのお得なプランを利用して、関西へ遊びに行きませんか。

志布志港へのアクセスは、「さんふらわあ」乗船の方は無料でご利用いただける直行シャトルバス(高速船ターミナル発)が大変便利です(要事前予約)。

詳しくは、下記予約センターまでお問い合わせください。

【問】フェリーさんふらわあ予約センター
☎0120(3268)56
<http://www.ferry-sunflower.co.jp/>
県庁交通政策課 ☎099(286)3302

県ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

【国民文化祭かごしま2015応援事業】
鹿児島音楽フェスティバル
～みやまの森の響き～



国民文化祭かごしま2015直前!
 特別ゲスト・カサリンチュほか贈る、野
 外音楽祭です。

【日 時】10月25日(日)午後1時開演
 【会 場】みやまコンセル・野外音楽堂
 (荒天時は主ホールで開催します)
 【入場料】一般1,000円
 学生・幼児(3歳以上)500円
 ※0歳児から入場できます。

【問】みやまコンセル
 ☎0995(78)8000

第1回霧島山楽隊

トレッキングで霧島の紅葉・自然を楽しみ
 ませんか。体験の風推進事業の指導者育成
 事業として実施します。

【期 日】10月31日(土)～11月1日(日)
 1泊2日
 【場 所】霧島自然ふれあいセンター
 および高千穂河原周辺
 【対 象】成人
 【定 員】50人程度
 【内 容】レクリエーション、
 セーフティ登山ガイド、
 トレッキング

【問】霧島自然ふれあいセンター
 ☎0995(78)2815

マリポートかごしまへ
クルーズ船を見に行こう!

マリポートかごしまに国際クルーズ船が
 寄港します。ご家族、ご友人、みんなでクル
 ーズ船を見てください!

【寄港予定日】

- ・スカイシー・ゴールデン・エラ (マルタ)
 9月27日(日)
- ・セレブリティ・ミレニアム (マルタ)
 10月4日(日)、10月30日(金)
- ・飛鳥II (日本)
 10月8日(木)
- ・コスタ・セレーナ (イタリア)
 10月9日(金)
- ・ル・ソリアル (フランス)
 10月19日(月)
- ・サファイア・プリンセス (イギリス)
 10月23日(金)

※原則として船内見学はできません。天候
 や運航スケジュールなどの事情により、
 日程などは変更されることがあります。
 寄港情報は、県ホームページをご覧ください。

【問】県庁観光課 ☎099(286)2997

かごしまスペースフェスタ開催!



宇宙航空研究開発機構(JAXA)職員
 による講演会や宇宙を題材とした工作教室
 などを開催します。

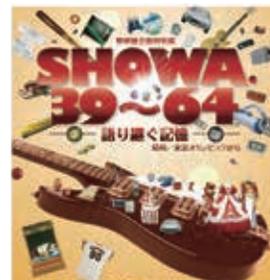
【日 時】10月10日(土)
 工作教室など 午後1時～
 講演会 午後3時～午後5時

【場 所】かごしま県民交流センター
 【料 金】無料

【申 込】事前申込が必要となります。
 ※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

【問】県庁地域政策課
 ☎099(286)2424

黎明館企画特別展
【SHOWA. 39～64 一語り継ぐ記憶一】



戦後復興の象徴とされた東京オリンピック
 以降の、おもちゃ・レコード・家電など、懐か
 しい記憶がよみがえる資料を展示します。

【期 間】9月11日(金)～10月18日(日)まで
 【会 場】黎明館2階 第2特別展示室
 【観覧料】一 般800(600)円
 高大生500(350)円
 中学生以下無料

※()は20名以上の団体料金。免除制度あり
 詳しくは、ホームページをご覧ください。

【問】県歴史資料センター黎明館
 ☎099(222)5396

みて きいて あそぼう!
鹿児島県文化振興財団
体験フェア2015



みやまコンセル、霧島アートの森、上
 野原縄文の森、埋蔵文化財調査センターが
 宝山ホールに集結!

【日 時】9月12日(土)～13日(日)
 午前10時30分～午後3時30分
 【会 場】宝山ホール
 前庭、アート・ギャラリー

【内 容】ミニミニ・コンサート、効果音体験、
 フェイクアート、ヴァイオリン体験、
 森の実ペンダント作り、火おこし体
 験、かんたん楽器作り、発掘調査
 成果の紹介、クイズラリー ほか

【問】宝山ホール ☎099(223)4221

広告

かごしまよかとこ巡り
 旅ガラスのごとく広い県土
 を飛び回り、お薦めの観光
 スポットを紹介します。

潮風と秋景を満喫する旅

鹿児島県の北西部にある出水市、阿久根市、長島町。

かつて薩摩藩が北の守りを固めたこの場所で、歴史に触れながら、美しい海岸線の景色や温泉、美味しい食べ物を満喫できるおすすめスポットをご紹介します。

1 はりお 針尾公園 出水郡長島町

針尾公園はかつて天草一帯の実権を握っていたという豪族宮地氏の砦跡。展望台から北を望めば、目の前に「薩摩松島」の異名を持つ八代海（不知火海）の絶景が広がります。

【所在地】出水郡長島町鷹巣

【駐車場】有

長島町水産商工課 ☎0996(86)1137



3 出水麓武家屋敷群 出水市麓町

藩内最大の外城であった出水麓。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、武家門や石垣・生垣など400年前の面影を残しています。一般公開されている武家屋敷は竹添邸、税所邸、武宮邸（庭園のみ）の3軒。竹添邸は大河ドラマ「篤姫」のロケ地です。



秋には紅葉も楽しめます。

【料金】無料

【定休日】無休

【駐車場】有

【所在地】出水市麓町

【営業時間】午前9時～午後5時（公開武家屋敷）

出水市観光交流課 ☎0996(63)2111

2 黒崎空中展望所 出水郡長島町

獅子島に完成した黒崎空中展望所。片側港から車で約5分の場所に位置し、車を停めて小路を歩き展望所へ向かうと、名前のとおり空中から行き交う船を眼下に眺められます。

【所在地】出水郡長島町獅子島

【駐車場】有

長島町企画財政課 ☎0996(86)1134



5 阿久根温泉 阿久根市

湯上がり肌しっとり「美人の湯」。湯冷めしにくいのが特徴です。冬場には阿久根市特産のボンタンを湯に浮かべる施設も多く、シトラスの香りに包まれながら入る温泉で癒されると評判です。

【所在地】阿久根市街地周辺

阿久根市観光連盟 ☎0996(72)3646



見頃：
9月下旬～
10月中旬

4 上場高原コスモス園 出水市上大川内

標高約500mの小高い丘一面に咲く約25万本のコスモスは立体感抜群で迫力満点。

見上げれば、秋空とコスモスが目に飛び込み、頂上の展望台からは大パノラマが楽しめます。コスモスの咲く時期は古代マーケットが開かれ、高原野菜などが販売されます。

【所在地】出水市上大川内2648-4

【定休日】無休

【料金】無料

【駐車場】有

出水市観光交流課 ☎0996(63)2111



6 「にぎわい交流館」阿久根駅 阿久根市栄町

平成26年5月ににぎわい交流館阿久根駅としてリニューアルオープンしました。デザインはJR九州の豪華寝台特急「ななつ星in九州」などを手がけた水戸岡鋭治氏。内装には木材がふんだんに使われ、ホールを兼ねた待合室やキッズスペース、図書コーナー、食堂、カフェなどがあります。

【所在地】阿久根市栄町1番

阿久根駅 ☎0996(73)4850



※利用時間や休業日などはおでかけ前に各施設にお問い合わせください。



★ 新OMOTENASHIご当地グルメ 「いずみ親子ステーキごはん」 出水市

出水市は日本を代表する鶏肉・鶏卵の生産地（生産額第2位）。地元の新鮮な鶏肉と鶏卵を使用し、肉（親）は焼いて食べ、卵（子）は卵かけごはん食べる、産地ならではのメニューです。

いずみ親子メニュー推進協議会（出水市観光交流課）☎0996(63)2111



★ 長島どーん鯰 長島町

県内のご当地グルメの決定戦「Show-1グルメグランプリ2014」で、準グランプリを受賞。町特産のブリやアオサなどを使った絶品料理です。取扱店は町内に7店舗。各店舗ごとにオリジナルの味を楽しめます。

長島町商工会（グルメ担当）

☎0996(86)0209



★ 第9回 阿久根 「伊勢えび祭り」 阿久根市

開催期間は9月1日（火）から10月31日（土）まで。期間中、阿久根市内の13店舗で、店舗ごとに趣向を凝らした伊勢えび料理を提供します。土・日・祭日は特に混雑するので早めの予約を。

阿久根市観光連盟

☎0996(72)3646

10月3日(土)

霧島市国分キャンプ海水浴場



霧島市花火大会

問い合わせ先

霧島市花火大会実行委員会
霧島商工会議所内
☎0995 (45) 0313

市制施行10周年を記念して開催。フルカラーレーザーと音楽の演出による打ち上げ花火約8,000発が秋の夜空を彩ります。ステージの「プレ国民文化祭30日前イベント」では、霧島九面太鼓や地元のガールズユニットKSGが会場を盛り上げます。

10月11日(日)

湧水町相撲道場



第11回湧水町 豊祭相撲大会

問い合わせ先

湧水町教育委員会生涯学習課
☎0995 (75) 2142

相撲を通じて青少年の健全育成と文化の灯を守っていくため、小学生から一般までの選手約180人が参加する豊祭相撲大会が開催されます。団体戦や学年別個人戦など迫力のある取り組みをぜひご覧ください。

10月17日(土)

日置市立日吉中学校グラウンド



ひおき秋まつり

問い合わせ先

日置市商工会
☎099 (272) 2222

楽しいステージイベントや中学生によるバザー、子ども向けのゲーム大会、お楽しみ抽選会など楽しい催しもあります。なんとと言ってもグラウンド横から打ち上がる3,000発の花火は迫力満点で豪快に秋の夜空を彩ります。

EVENTS INFORMATION

イ ベ ン ト 情 報

2015年

9~11月

SEPTEMBER
NOVEMBER



9月5日(土)~10月12日(月)

肝付町内加盟店



えっがね祭り

問い合わせ先

えっがね祭り実行委員会
☎0994 (67) 2888

9月5日~10月12日の期間に、加盟飲食店で各店オリジナルの「えっがね定食」が4,000円の統一料金で提供されます。また9月20日之内の浦漁港でのイベントでは、伊勢海老の直売や味噌汁無料配布、地元特産品販売、伊勢海老に関するさまざまなアトラクションが行われます。

9月22日(火)

薩摩川内市国道3号(向田側)



川内大綱引

問い合わせ先

川内大綱引保存会
☎0996 (21) 1851

400年以上も続く伝統行事。重さ7t、長さ365mの大綱作りは、当日の朝から綱練りが始まり、一見の価値があります。ダン木祭りなどの後、一番太鼓の合図を皮切りに、迫力ある押し隊による押し合いと、同時に引き合いも開始。沿道の観客の熱気も一気に上がります。

広告

11月1日(日)

指宿商業高校体育館



第26回指商デパート

問い合わせ先

指宿商業高校
☎0993(25)2204

生徒自らが仕入れ、販売、決算までを担当する実践学習。コンビニと共同開発したお菓子や韓国物産などを、生徒たちが元気に販売します。また、地元食材を使った本格フレンチレストランも出店予定。

11月7日(土)～8日(日)

いちき串木野市西薩町



いちき串木野づくし産業まつり ～地かえて祭り～

問い合わせ先

いちき串木野市役所水産商工課
☎0996(32)3111

市制施行10周年の記念の年。会場では、「うんまかもんフェスティバル」に加え、国民文化祭「食の祭典」も同時開催。「食のまちいちき串木野」の総力を結集した魅力満載の産業祭です。

11月8日(日)

さつま町宮之城総合運動公園内特設会場



第11回 さつまフェスタ

問い合わせ先

さつまフェスタ実行委員会事務局
☎0996(53)1111

新鮮な農林産物や特産品などの展示販売が行われ、青森県鶴田町のりんごも販売される。今年は、国民文化祭さつま町主催事業「ゆるキャラ®&大鍋フェスタ」や「郷土芸能祭」と同時開催。さつまの秋を味わいに、家族や友人と出かけてみては。

広告

10月17日(土)～11月15日(日)

長島町太陽の里ピクニック広場



長島町造形美術展 ～アートの島の玉手箱～

問い合わせ先

第30回国民文化祭
長島町実行委員会
☎0996(88)6500

2年に1度開催される「ながしま造形美術展」は、地域の方々や各団体が、自然の身近な素材を利用し、造形物を製作。1m・3m・5m超級のアートが皆さんを迎えます。この機会に一度、壮大な芸術作品に触れてみては。

10月18日(日)

南さつま市笠沙公園グラウンド



第28回マリンランド 笠沙フェスタ

問い合わせ先

マリンランド笠沙フェスタ
実行委員会事務局
☎0993(63)1111

漁船パレード・ドラゴンボート競争・ブリのつかみ取りやお楽しみ抽選会などが行われます。特に、迫力のあるドラゴンボート競走や、水しぶきを上げて子ども達が魚を追いかけ回るブリのつかみ取りは大人気。

10月21日(水)

瀬戸内町大屯神社



諸鈍シバヤ

問い合わせ先

瀬戸内町教育委員会社会教育課
☎0997(72)2905

源平の戦いに敗れた平資盛一行が、地域に住む人々との交流を深めるために伝えたのが始まりといわれている。紙面と陣笠風の笠をかぶり、三味線と囃子に合わせて演じるさまは一見の価値あり。この機会に、家族や友人と足を運んでみては。

薩摩藩 英國留學生 同行記

Record of Satsuma Students Travel Companions

ロンドンでの 生活はじまる

第3回
全6回

参考資料／薩藩海軍史、薩摩藩英國留學生

画／竹添 星児 本文監修／東川 隆太郎



今年四月に羽島を出港した薩摩藩英國留學生一行が、ついに英國へ到着した。一行はロンドンで生活を始め、それぞれの学業にとりかかっているようだ。

英国到着

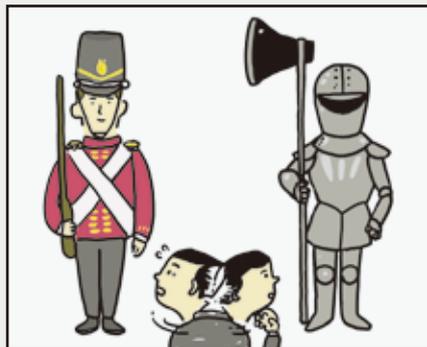
富国強兵の志新たに

留學生の一行が同国サザンプトン港に到着したのは、慶応元（一八六五）年六月二十一日のことである。英國の地を踏んだ留學生らの心は、無事に長旅を終えた喜びと今後の学業への強い期待に満ちていた。留學生の中には西洋文明に否定的な者もいたが、今や彼らも富国強兵の必要性を十分に感じているようだ。

このような心境に至ったきっかけは、英國到着前に寄港したマルタ島にある。英國海軍の重要拠点であるマルタ島で、留學生らは最新鋭の設備とともに中世時代の武器などを見学した。昔は日本人と同じく長槍長刀を使用していた西洋人が、今や大砲や艦隊を操るほどの技術を有しているという事実は、留學生らに大きな衝撃を与えたのである。視察員として同行する五代友厚は、この時の彼らの様子を次のように書き記している。

「地中海『マルタ』島港に著、始めて歐羅巴の開成張大なるを實驗して、忽ち蒙昧を照し、是迄主張せし愚論を恥ぢ慨嘆して止まず」

攘夷論者を西洋文明に触れさせることで富国強兵論に転向させるといって、出発前の五代の思惑は、ここで見事に達成される形となった。



マルタ島で西洋諸国の飛躍的な発展を目の当たりにし、富国強兵の重要性を認識した。

ロンドンでの生活

長州留學生との出会い

ロンドンに到着した一行は、長崎の貿易商トーマス・グラヴァーの兄ジェームズ・グラヴァーに迎えられ、住居などの世話を受けた。またちようど大学が夏季休暇中であったため、彼らのはからいでしばらくは家庭教師を招いて英語の習得に努めることとなった。



もり ありのり

森有礼

(弘化4(1847)年 - 明治22(1889)年)
薩摩藩英国留学生として英米留学の後、一橋大学の前身となる商法講習所を開設する。明治政府で初代文部大臣を務めた他、明六社会長、東京学士会院初代会員を務める。

写真：鹿児島県立図書館 蔵



むらはし ひさなり

村橋久成

(天保13(1842)年 - 明治25(1892)年)
薩摩藩英国留学生としてロンドン大学で海軍などを学び、翌年帰国。帰国して戊辰戦争に従軍する。維新後は北海道開拓使に勤め、サッポロビールの前身となる開拓使麦酒醸造所の設立に携わった。

写真：鹿児島県立図書館 蔵



まちだ しんしろう

町田申四郎

(弘化4(1847)年 - 没年不詳)
薩摩藩英国留学生としてロンドン大学で機械学を学び、翌年帰国。帰国後は薩摩藩家老・小松帯刀の養子・小松右近となり小松家を継ぐ。その後、小松帯刀の長男・清直に家督を譲った。

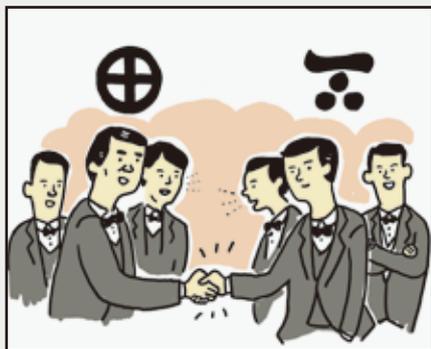
写真：鹿児島県立図書館 蔵



新しい生活にも徐々に慣れるなかで、驚くべき出会いもあった。七月二日、長州藩から渡英していた三人の留学生が宿舎を訪ねてきたのである。遠い異国で日本人と出会うことなど思いもよらなかった留学生らはおおいに驚き、懐かしさをおぼえたようだ。

長州と薩摩は元治元(一八六四年)の「禁門の変」での武力衝突などもあり、両藩には深い溝がある。しかしこの長州藩士らに對立の気配はないようで、薩摩藩留学生の森有礼も「三人とも薩摩藩に心を傾けている様子が伺える。そのうち日本も西洋諸国のような世情になるだろうから、互いに心得ておくべきだろう」という主旨の感想を記している。

本国よりもいち早く、遠い英国で薩長の交流が図られたことは大変興味



ロンドンで出会った薩摩と長州の留学生は、藩のしがらみを超えて交流を深めた。

深い。やはり広い世界に触れることが、藩の垣根を超える良いきっかけになっているのだろう。その後もともに市内見物に向かうなど、良い関係が続いている。

一行は英会話を学ぶかわら造船所や鉄工所などを見学してこの夏を過ごした。その様子は現地紙「タイムズ」にも取り上げられ、東洋の島国からはるばるやってきたこの一行は西洋文化に高い関心を払い、また素早い理解力を持っていたと英国国民に伝えられている。

八月には最年少の長沢鼎(旧名・磯永彦輔)が勉強のためスコットランドへひとり旅立ち、他の留学生らも専門の学業のため、分かれて大学教官の家へ寄宿することとなった。彼らはロンドン大学ユニバーシティ・カレッジに入学し、築城や造船、機械学などそれぞれに課せられた学問を修める予定である。

※本紙は薩摩藩英国留学生の当時の様子を紹介する企画です。本文中の時間は新暦とします。

次回

欧州視察、
商社設立の目論見



一生懸命に取り組む背中を
子や孫に見せていきたい。

常楽院 48代住職

くりやま こうじん
栗山 光人 さん(55)

後継者不足は私たちにとっても切実な問題です。私たちが一生懸命に取り組むその背中を見せることで子どもや孫たちが僧侶を目指し、将来、妙音十二楽の継承を担ってくれたらと願っています。

ところで妙音十二楽の琵琶は薩摩琵琶の源流であることをご存知でしょうか？ 常楽院31代淵脇寿長院が島津忠良の命を受け、力強い音色が出るよう改良したのが現在の薩摩琵琶です。勇壮な薩摩琵琶と違い、優しい音色を奏でる琵琶の音に注目してみてください。



妙音十二楽

日置市吹上町田尻／中島常楽院
みよ 吹上じゆうに がく

古来より受け継がれる 僧侶の奏でる厳かな調べ

毎年10月12日の午後、日置市吹上町田尻の中島常楽院には琵琶や笛の素朴な音色が響き渡ります。僧侶たちが奏でる厳かな調べに、見物客は息をひそめて聞き入ります。

「妙音十二楽」は大同3（808）年、天台宗常楽院の開祖、満正院阿闍梨が制定したとされる宗教音楽です。薩摩・大隅・日向守護職を命じられた島津忠久が薩摩へ下ったのを機に、建久7（1196）年、常楽院19代住職の宝山検校は現在の日置市吹上町田尻に常楽院を移し、その際に妙音十二楽も伝わったと考えられています。当時、この地は沼地で、その主である大蛇を宝山検校が祈祷で鎮めた日が10月12日であったことから、10月12日に妙音十二楽が演奏されるようになりました。昭和46（1971）年には鹿児島県の無形文化財に指定されています。

「妙音十二楽は島津家の武運長久を願うと共に、五穀豊饒や庶民の平穏無事を与えてくださる堅牢地神の威徳を称える意味が

鹿児島には、古くから受け継がれてきた個性豊かな伝統行事・祭りが残っています。今回はそんな伝統行事の中から日置市吹上町田尻に伝わる「妙音十二楽」をご紹介します。

ありました」と教えてくださったのは常楽院48代住職の栗山光人さん。現在も毎年10月12日に30代〜80代の僧侶10人ほどが鹿児島県と宮崎県から集い、演奏が行われます。「松風」「村雨」「杉登」などの全12曲を琵琶と笛、太鼓、手拍子の4種類の楽器で演奏し、釈文とよばれる経典も唱えられます。また「導師」役の僧侶が堅牢地神をお呼びしてその威徳を称える「堅牢地神秘密供養法」も同時に執り行われます。これらが一体となって妙音十二楽が完成するのです。

演奏当日は午後1時の開始に合わせて100人前後の見物客が中島常楽院を訪れ、古来より受け継がれる幽玄な調べを堪能します。



日置市

日置市は、平成17年に東市来町、伊集院町、日吉町、吹上町が合併して発足した総人口50,250人（平成27年8月現在）のまちです。県西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、伝統行事や薩摩焼、優れた泉質の温泉などが特徴です。写真は10月の第4土・日に開催される「妙円寺詣り」。武者行列や民俗芸能の披露などが行われ、多くの見物客で賑わいます。